

一般演題 001 臨床試験 (I)

7月31日(木) 14:10~14:55

第1会場

座長: 鳥越 俊彦 (札幌医科大学医学部 病理学第一講座)

001-1 SVN-2B ペプチドがんワクチン療法: 第I相臨床試験 "SUCCESS" から得た最新の知見

- 鳥 宏彰¹⁾、水口 徹¹⁾、里見 路乃¹⁾、九富 五郎¹⁾、信岡 隆幸¹⁾、木村 康利¹⁾、古畑 智久¹⁾、亀嶋 秀和²⁾、高橋あかり³⁾、塚原 智英³⁾、金関 貴幸³⁾、廣橋 良彦³⁾、鶴間 哲弘⁴⁾、岩山 祐司⁵⁾、田村 保明³⁾、鳥越 俊彦³⁾、佐藤 昇志³⁾、平田 公一¹⁾
¹⁾ 札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科、²⁾ 東札幌病院 外科、³⁾ 札幌医科大学 第一病理、⁴⁾ JR札幌病院 外科、⁵⁾ 滝川市立病院 外科

001-2 進行尿路上皮癌に対するサバイビン 2B ペプチドワクチン臨床試験における irResponse Criteria を用いた治療効果判定

- 北村 寛¹⁾、田中 俊明¹⁾、井上 隆太¹⁾、西田 幸代¹⁾、廣橋 良彦²⁾、鳥越 俊彦²⁾、佐藤 昇志²⁾、舩森 直哉¹⁾
¹⁾ 札幌医科大学 医学部 泌尿器科、²⁾ 札幌医科大学 医学部 第一病理

001-3 去勢抵抗性前立腺がんを対象としたマルチペプチド混合カクテルワクチン KRM20 の第I相試験

- 山田 亮¹⁾、野口 正典¹⁾、新井 学²⁾、松本 和将³⁾、内藤 誠二⁴⁾、守屋普久子¹⁾、末金 茂高¹⁾、小松 誠和¹⁾、松枝 智子¹⁾、笹田 哲朗¹⁾、伊東 恭悟¹⁾
¹⁾ 久留米大学、²⁾ 獨協医科大学、³⁾ 北里大学、⁴⁾ 九州大学

001-4 既二次治療進行非小細胞癌に対するテラーメイドペプチドワクチン療法の臨床第II相試験

- 坂本信二郎^{1,2)}、山田 哲平^{1,3)}、寺崎 奏宏⁴⁾、吉山 康一⁴⁾、松枝 智子^{2,5)}、小松 誠和¹⁾、和氣加容子⁵⁾、山田 亮⁵⁾、河原 明彦⁶⁾、鹿毛 政義^{5,6)}、菅原 俊一⁷⁾、山下 裕一³⁾、笹田 哲朗^{1,2)}、高森 信三⁴⁾、伊藤 恭吾²⁾
¹⁾ 久留米大学医学部免疫学講座、²⁾ 久留米大学がんワクチンセンター、³⁾ 福岡大学医学部消化器外科、⁴⁾ 久留米大学医学部外科学講座、⁵⁾ 久留米大学先端癌治療研究センター、⁶⁾ 久留米大学病院病理部、⁷⁾ 仙台厚生病院呼吸器センター呼吸器内科

001-5 再発悪性神経膠腫を対象とした WT1 キラーペプチドと WT1 ヘルパーペプチドを用いた免疫療法 第I相試験

- 坪井 昭博¹⁾、橋本 直哉²⁾、岡 芳弘³⁾、森本創世子³⁾、尾路 祐介⁴⁾、保仙 直毅⁴⁾、西田 純幸⁵⁾、中田 潤¹⁾、中江 吉希⁵⁾、中島 博子³⁾、吉峰 俊樹²⁾、杉山 治夫⁶⁾
¹⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 癌ワクチン療法学、²⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学、³⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 癌免疫学共同講座、⁴⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 癌幹細胞制御学、⁵⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学、⁶⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 機能診断科学

001-6 WT1 peptide-based cancer vaccine in combination with gemcitabine for advanced pancreatic cancer

- 西田 純幸¹⁾、小井戸薫雄²⁾、本間 定²⁾、武田 裕¹⁾、石川 剛³⁾、古倉 聡³⁾、江川 新一⁴⁾、森本創世子¹⁾、江口 英利¹⁾、森田 智視⁵⁾、岡 芳弘¹⁾、杉山 治夫¹⁾
¹⁾ 大阪大学大学院医学系研究科、²⁾ 東京慈恵会医科大学、³⁾ 京都府立医科大学、⁴⁾ 東北大学大学院医学系研究科、⁵⁾ 京都大学大学院医学系研究科

一般演題 O02 臨床試験 (II)

7月31日(木) 14:55 ~ 15:40

第1会場

座長: 門脇 則光 (京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学)

O02-1 Dendritic cells pulsed with WT1-specific MHC class I/II restricted epitopes for pancreatic cancer

- 小井戸薫雄¹⁾、本間 定¹⁾、岡本 正人²⁾、伊藤 正紀¹⁾、杉山 治夫³⁾、大草 敏史¹⁾、田尻 久雄¹⁾

¹⁾ 東京慈恵会医科大学医学部、²⁾ 慶應義塾大学医学部、³⁾ 大阪大学医学部

O02-2 培養 NK 細胞投与後の末梢血 NK 細胞の活性化の検討

- トウ 学文¹⁾、照沼 裕^{1,2,3)}、照沼 篤^{1,2)}、高根 翼¹⁾、山本 哲¹⁾、齋田 美江¹⁾

¹⁾ 日本バイオセラピー研究所、²⁾ 東京クリニック、³⁾ 総合南東北病院

O02-3 進行・再発消化器がんを対象とした新規高純度 NK 細胞療法の第 I 相臨床試験

- 坂元 直行^{1,3)}、石川 剛^{1,2)}、岡山 哲也^{1,2)}、出野美津子⁵⁾、榎 竜嗣⁵⁾、峰野 純一⁶⁾、古倉 聡⁴⁾、内藤 裕二¹⁾、伊藤 義人¹⁾、吉川 敏一²⁾

¹⁾ 京都府立医科大学大学院 消化器内科、²⁾ 京都府立医科大学 がん免疫細胞制御学講座、

³⁾ 医聖会 百万遍クリニック、⁴⁾ 京都学園大学、⁵⁾ タカラバイオ (株) CDM センター、

⁶⁾ タカラバイオ (株) バイオ産業支援事業部門

O02-4 肝細胞癌 (HCC) に対する HSP70-mRNA 導入樹状細胞療法

- 松井 洋人、碓 彰一、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光 幸生、徳久 善弘、飯田 通久、坂本 和彦、鈴木 伸明、吉村 清、為佐 卓夫、上野 富雄、吉野 茂文、岡 正朗
山口大学大学院 消化器・腫瘍外科

O02-5 切除不能膵癌に対する初回治療 gemcitabine 併用 WT1 ペプチド感作樹状細胞ワクチンの評価

- 眞柳 修平¹⁾、桜井 敏晴²⁾、北郷 実¹⁾、竹内 裕也¹⁾、板野 理¹⁾、田口 淳一³⁾、砂村 真琴⁴⁾、藤田 知信²⁾、河上 裕²⁾、北川 雄光¹⁾

¹⁾ 慶應義塾大学医学部 外科、²⁾ 慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 細胞情報部門、

³⁾ 東京ミッドタウンクリニック、⁴⁾ 東京医科大学 八王子医療センター 消化器外科・移植外科

O02-6 成人 T 細胞性白血病に対する樹状細胞ワクチン療法

- 飯野 忠史^{1,2)}、末廣 陽子³⁾、長谷川温彦⁴⁾、渡辺 信和⁵⁾、田野崎隆二⁶⁾、宇都宮 與⁷⁾、松岡 雅雄⁸⁾、豊嶋 崇徳⁹⁾、赤司 浩一^{1,2)}、鶴池 直邦³⁾、岡村 純¹⁰⁾、神奈木真理⁴⁾

¹⁾ 九大・先端医療イノベーションセンター、²⁾ 九大・医・病態修復内科、³⁾ 九州がんセンター・血液内科、

⁴⁾ 東京医科歯科大・免疫治療学、⁵⁾ 東大・医科研・幹細胞治療研究センター、

⁶⁾ 国立がん研究センター・輸血療法科、⁷⁾ 今村病院分院・血液内科、⁸⁾ 京大・ウイルス研究所、

⁹⁾ 北大・医・血液内科、¹⁰⁾ 九州がんセンター・臨床研究センター

一般演題 003 バイオマーカー (I)

7月31日(木) 15:40~16:15

第1会場

座長: 山田 亮 (久留米大学先端癌治療研究センター)

003-1 Biomarkers for immunotherapy: Results from the analysis of a HLA-A-status double-blind, biologically-randomized phase II study of five therapeutic epitope-peptides with oxaliplatin-based chemotherapy as first-line therapy for advanced colorectal cancer (FXV study)

- HAZAMA Shoichi¹⁾、NAKAMURA Yusuke²⁾、TANAKA Hiroaki³⁾、SUGIURA Fumiaki⁴⁾、OKUNO Kiyotaka⁴⁾、YOSHIMATSU Kazuhiko⁵⁾、TAKENOUCI Hiroko¹⁾、TSUNEDOMI Ryouichi¹⁾、INOUE Yuka¹⁾、KANEKIYO Shinsuke¹⁾、SHINDO Yoshitaro¹⁾、YOSHIMURA Kiyoshi¹⁾、YOSHINO Shigefumi¹⁾、FUJITA Tomonobu⁶⁾、KAWAKAMI Yutaka⁶⁾、OKA Masaaki¹⁾

¹⁾ Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine、

²⁾ Department of Medicine and Surgery, The University of Chicago、

³⁾ Department of Surgical Oncology, Osaka City University Graduate School of Medicine、

⁴⁾ Department of Surgery, Kinki University Faculty of Medicine、

⁵⁾ Department of Surgery, Tokyo Women's Medical University Medical Center East、

⁶⁾ Division of Cellular Signaling, Institute for Advanced Medical Research, Keio University School of Medicine

003-2 PD-1 expression on peripheral blood T-cell subsets correlates with prognosis in non-small cell lung cancer

- 和氣加容子¹⁾、山田 哲平¹⁾、吉山 康一¹⁾、坂本信二郎¹⁾、松枝 智子¹⁾、小松 誠和¹⁾、菅原 俊一²⁾、高森 信三¹⁾、伊東 恭悟¹⁾、山田 亮¹⁾

¹⁾ 久留米大学、²⁾ 仙台厚生病院

003-3 γ δ T細胞を用いたがん免疫細胞治療における TIM-3 と Galectin-9 の相互作用

- 神原 佳織^{1,3)}、藤枝 奈緒^{1,3)}、大平 公亮^{1,3)}、近藤 篤^{1,3)}、近藤 真^{1,3)}、泉 謙道^{1,3)}、高橋 卓也^{1,3)}、松下 博和¹⁾、和田 郁夫²⁾、瀬戸 泰之²⁾、垣見 和宏¹⁾

¹⁾ 東京大学医学部付属病院 免疫細胞治療学講座、²⁾ 東京大学医学部付属病院 胃食道外科、

³⁾ 株式会社メディネット

003-4 進行再発大腸癌に対する mFOLFOX6 とエピトープペプチド併用療法における血中抗ペプチド抗体の解析

- 鈴木 伸明¹⁾、松枝 智子²⁾、裕 彰一¹⁾、竹之内寛子¹⁾、吉田 浩二³⁾、角田 卓也³⁾、中村 祐輔⁴⁾、岡本 正人⁵⁾、藤田 知信⁵⁾、河上 裕⁵⁾、伊東 恭悟²⁾、岡 正朗¹⁾

¹⁾ 山口大学 消化器・腫瘍外科学、²⁾ 久留米大学医学部 免疫・免疫治療学、

³⁾ オンコセラピィ・サイエンス株式会社、⁴⁾ シカゴ大学医学部 内科・外科、

⁵⁾ 慶應義塾大学医学部 先端研細胞情報

003-5 ダサチニブ治療中の Ph 陽性白血病患者では高い細胞傷害活性を有する CMV 関連 NK 細胞が増加する

- 石山 賢一、北脇 年雄、高折 晃史、門脇 則光

京都大学大学院医学研究科 血液腫瘍内科学

一般演題 **O04 バイオマーカー（Ⅱ）**

7月31日（木）16：15～16：50

第1会場

座長：藤田 知信（慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 細胞情報研究部門）

O04-1 癌 / 精巢抗原 Kitakyushu lung cancer antigen-1 (KK-LC-1) と発癌因子

Helicobacter pylori との関連性

- 福山 隆¹⁾、二渡 信江²⁾、市来 嘉伸³⁾、山崎 大賀¹⁾、植松 崇之¹⁾、荻 真里子⁴⁾、
信太 昭子²⁾、細田 桂⁵⁾、片田 夏也⁵⁾、高橋 禎人²⁾、西 八嗣²⁾、山崎 等⁴⁾、
小林 憲忠¹⁾

¹⁾ 北里大学メディカルセンター研究センター、²⁾ 北里大学メディカルセンター外科、³⁾ 産業医科大学第二外科、⁴⁾ 北里大学メディカルセンター病理部、⁵⁾ 北里大学東病院消化器外科

O04-2 血清 microRNA による免疫体質の評価とがん免疫治療における新規バイオマーカーとしての有用性

- 大竹 淳矢¹⁾、大野 陽介^{1,2)}、寺田 聖¹⁾、金海 俊¹⁾、岸川 拓斗¹⁾、角田健太郎¹⁾、
喜多 俊行¹⁾、高橋 典彦²⁾、武富 紹信²⁾、北村 秀光¹⁾

¹⁾ 北海道大学 遺伝子病制御研究所 免疫制御分野、²⁾ 北海道大学大学院医学研究科 消化器外科学分野 I

O04-3 Clinical effect of XAGE1 (GAGED2a) antigen expression and antibody response in EGFR mutated and wild-type advanced lung adenocarcinoma

- Yoshihiro Ohue¹⁾、Koji Kurose¹⁾、Yu Mizote¹⁾、Hirofumi Matsumoto¹⁾、
Yumi Nishio¹⁾、Midori Isobe¹⁾、Minoru Fukuda²⁾、Akiko Uenaka³⁾、Mikio Oka¹⁾、
Eiichi Nakayama³⁾

¹⁾ Kawasaki Medical School、²⁾ Nagasaki University Clinical Oncology Center、

³⁾ Kawasaki University of Medical Welfare

O04-4 老齢個体で増加する IL-6 は、CD4⁺ T 細胞を介した抗腫瘍免疫応答を抑制する

- 塚本 博丈¹⁾、千住 覚¹⁾、松村 桂子¹⁾、Swain Susan²⁾、西村 泰治¹⁾

¹⁾ 熊本大学大学院 生命科学研究部 免疫識別学分野、²⁾ University of Massachusetts Medical School

O04-5 ULBP1 / NKG2D interaction の胃癌患者におけるバイオマーカーとしての意義

- 吉村 清、亀井 滝士、鈴木 伸明、渡邊 祐策、前田 祥成、前田 訓子、前田 和成、
松隈 聡、飯田 通久、山本 滋、吉野 茂文、裕 彰一、岡 正朗

山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学

一般演題 **O05 免疫モニタリング・バイオアッセイ系（Ⅰ）**

7月31日（木）16：50～17：25

第1会場

座長：葛島 清隆（愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫学部）

O05-1 TCR ディープシーケンスによる NY-ESO-1 特異的 T 細胞のモニタリング

- 垣見 和宏¹⁾、榮川 伸吾²⁾、磯辺みどり³⁾、松下 博和¹⁾、宮井まなみ¹⁾、細井 亮宏¹⁾、
藤枝 奈緒¹⁾、鶴殿平一郎²⁾、上中 明子³⁾、中山 睿一³⁾

¹⁾ 東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座、²⁾ 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 免疫学分野、

³⁾ 川崎医療福祉大学 医療福祉学部

O05-2 Glypican-3 (GPC3) ペプチドワクチン投与後の投与局所及び腫瘍局所でのペプチド特異的 CTL の解析

- 吉川 聡明¹⁾、下村真菜美¹⁾、澤田 雄¹⁾、高橋 真理¹⁾、吉原 宏樹²⁾、上野 浩生²⁾、真部 淳²⁾、細野 亜古¹⁾、植村 靖史¹⁾、中面 哲也¹⁾

¹⁾ 国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター 免疫療法開発分野、²⁾ 聖路加国際病院 小児科

O05-3 がんペプチドワクチン療法における TCR レポートリーの経時的变化の検討

- 中河 秀俊¹⁾、水腰英四郎¹⁾、清家 拓哉¹⁾、山宮 大典¹⁾、米島 淳¹⁾、稲田 悠記¹⁾、木田 明彦¹⁾、梶 喜一郎¹⁾、玉井 利克^{1,2)}、熊谷 将史¹⁾、寺島 健志¹⁾、北原 征明¹⁾、飯田 宗穂¹⁾、小林 栄治²⁾、岸 裕幸²⁾、村口 篤²⁾、金子 周一¹⁾

¹⁾ 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 恒常性制御学、

²⁾ 富山大学大学院医学薬学研究部 分子免疫学講座

O05-4 Tumor-reactive cytotoxic CD4⁺ T cell responses after ipilimumab treatment in advanced melanoma patients

- 北野 滋久^{1,2)}、Tsuji Takemasa⁴⁾、Liu Caillian³⁾、Hirschhorn-Cymerman Daniel³⁾、Kyi Chrisann³⁾、Mu Zenyu³⁾、Allison James⁵⁾、Gnjatic Sacha⁶⁾、Yuan Jianda³⁾、Wolchok Jedd³⁾

¹⁾ 国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター 中央病院 先端医療科

²⁾ 国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター 免疫療法開発分野

³⁾ Memorial Sloan-Kettering Cancer Center, Ludwig Center for Cancer Immunotherapy, New York, NY、⁴⁾ Roswell Park Cancer Institute, Buffalo, NY

⁵⁾ The University of Texas MD Anderson Cancer Center, Department of Immunology, Houston, Texas

⁶⁾ Mount Sinai Icahn School of Medicine, Tisch Cancer Institute, New York, NY

O05-5 がんペプチドワクチン後予後予測マーカーとしての治療前血中 IL6・IL8 の意義

- 藤田 知信¹⁾、野路しのぶ¹⁾、南雲 春菜¹⁾、岡本 正人¹⁾、櫻井 敏晴¹⁾、澤田 雄²⁾、吉川 聡明²⁾、下村真菜美²⁾、中面 哲也²⁾、野口 正典³⁾、松枝 智子³⁾、伊東 恭悟³⁾、裕 彰一⁴⁾、竹之内寛子⁴⁾、岡 正朗⁴⁾、河上 裕⁴⁾

¹⁾ 慶應義塾大学医学部先端医科学研究所細胞情報研究部門、

²⁾ 国立がん研究センター早期・探索臨床研究センター 免疫療法開発分野、

³⁾ 久留米大学医学部免疫・免疫治療学講座、⁴⁾ 山口大学大学院消化器・腫瘍外科学

一般演題

O06 免疫モニタリング・バイオアッセイ系 (II)

7月31日(木) 17:25 ~ 18:00

第1会場

座長：中面 哲也 (独立行政法人国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター)

O06-1 ヒトと同様の発現様式を示す癌胎児性抗原 (CEA) トランスジェニックマウスを用いた CEA 特異的キメラ抗原受容体導入 T 細胞輸注療法の有効性と安全性の検討

- 王 立楠¹⁾、加藤 琢磨²⁾、瀬尾 尚宏¹⁾、岡本 幸子³⁾、天石 泰典³⁾、峰野 純一³⁾、竹迫 一任³⁾、珠玖 洋¹⁾

¹⁾ 三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・細胞治療学、²⁾ 三重大学大学院医学系研究科 生態防御医学、

³⁾ タカラバイオ株式会社

006-2 制御性T細胞解析方法の標準化に向けた多施設共同研究

- 長瀬 博次¹⁾、和田 尚^{1,2)}、西川 博嘉³⁾、鈴木 進⁴⁾、平家 勇司⁵⁾、小嶋 隆嗣⁶⁾、垣見 和宏⁷⁾、船越 建⁸⁾、飯田 真介⁹⁾、石田 高司⁹⁾、佐藤 永一¹⁰⁾、鶴殿平一郎¹¹⁾、岡 三喜男¹²⁾、中山 睿一¹³⁾、土岐祐一郎¹⁾、上田 龍三⁴⁾

¹⁾ 大阪大学大学院・消化器外科学、²⁾ 臨床腫瘍免疫学、³⁾ 免疫学フロンティア研究センター実験免疫

⁴⁾ 愛知医科大学・腫瘍免疫、⁵⁾ 国立がん研究センター・中央病院、⁶⁾ 東病院消化管内科、

⁷⁾ 東京大学・免疫細胞治療学、⁸⁾ 慶應義塾大学・皮膚科学、⁹⁾ 名古屋市立大学大学院・腫瘍・免疫内科学

¹⁰⁾ 東京医科大学・病理診断学、¹¹⁾ 岡山大学大学院・免疫学、¹²⁾ 川崎医科大学・呼吸器内科、

¹³⁾ 川崎医療福祉大学・医療福祉学部

006-3 簡便且つ半定量性のある新規免疫モニタリング法の開発

- 藤井 啓介、中村 純子、瀬尾 尚宏、原田 直純、宮原 慶裕、珠玖 洋
三重大学

006-4 ヒト末梢血移入マウス MHC class I/II ノックアウト NOG マウスを用いたヒト腫瘍免疫応答の in vivo 解析

- 谷口 智憲¹⁾、小林明日香¹⁾、片野いくみ²⁾、何 裕遥²⁾、猪爪 隆史³⁾、伊藤 守²⁾、河上 裕¹⁾

¹⁾ 慶應義塾大学 医学部 先端医学研究所 細胞情報研究部門、²⁾ 実験動物中央研究所 実験動物研究部、

³⁾ 山梨大学 医学部 皮膚科学教室

006-5 演題取り下げ

一般演題 007 免疫逃避機構 (I)

7月31日(木) 18:00 ~ 18:30

第1会場

座長：原田 守 (島根大学医学部免疫学)

007-1 Myeloid leukemia cells suppress T cell proliferation

- 谷本 一史^{1,2)}、Miner Samantha²⁾、Ito Sawa²⁾、Muranski Pawel²⁾、藤原 弘¹⁾、Hensel Nancy²⁾、Melenhorst J. Joseph³⁾、Barrett A. John²⁾、安川 正貴¹⁾

¹⁾ 愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学、

²⁾ Hematology Branch, National Heart, Lung and Blood Institute, National Institutes of Health、

³⁾ Abramson Cancer Center, Department of Pathology and Laboratory Medicine, Perelman School of Medicine, University of Pennsylvania

007-2 Nafamostat Mesylate は Gemcitabine による膵癌細胞の PD-L1 発現上昇を抑制する

- 本間 定¹⁾、林 和美^{1,2)}、小井戸薫雄^{1,3)}、佐川由紀子¹⁾、カン シン¹⁾、込田 英夫⁴⁾、伊藤 正紀¹⁾、鎌田 裕子¹⁾、宇和川 匡²⁾、矢永 勝彦⁵⁾

¹⁾ 東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 悪性腫瘍治療研究部、

²⁾ 東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科、³⁾ 東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科、

⁴⁾ 東京慈恵会医科大学 健診センター、⁵⁾ 東京慈恵会医科大学 肝胆膵外科

007-3 Carbon-ion beam and X-ray irradiation increase a release of an immune mediator protein high mobility group box 1 (HMGB1) in various human cancer cell lines

- 尾池 貴洋¹⁾、鈴木 義行¹⁾、吉本 由哉¹⁾、小此木範之¹⁾、磯野 真由²⁾、三村 耕作³⁾、河野 浩二³⁾、中野 隆史¹⁾

¹⁾ 群馬大学大学院医学系研究科腫瘍放射線学、²⁾ 群馬大学重粒子線医学研究センター、

³⁾ Department of Surgery, Cancer Center Institute of Singapore, National University of Singapore

007-4 骨髄異形成症候群における V-set and immunoglobulin domain containing 4 (VSIG4) の発現と機能解析

- 濱田 泰子^{1,2)}、石橋真理子¹⁾、田村 秀人¹⁾、朝山 敏夫¹⁾、奥山奈美子¹⁾、小野寺麻加¹⁾、
守屋 慶一¹⁾、Choi Inhak³⁾、猪口 孝一¹⁾

¹⁾ 日本医科大学 血液内科、²⁾ 横浜南共済病院 血液内科、

³⁾ Department of Microbiology and Immunology, Advanced Research Center for Multiple Myeloma Inje University
College of Medicine

一般演題 **008 自然免疫とがん**

7月31日(木) 14:10～14:55

第2会場

座長：八木田秀雄（順天堂大学大学院医学研究科・免疫学講座）

008-1 Recognition of tumor cells by pattern-recognition receptors for anti-tumor innate immune responses

- IKUSHIMA Hiroaki、UEKI Hiroshi、CHIBA Shiho、YANAI Hideyuki、
KIMURA Yoshitaka、TANIGUCHI Tadatsugu

Institute of Industrial Science, University of Tokyo

008-2 樹状細胞のNK1R・NK2Rを介した神経ペプチドシグナルによるType-1免疫の活性化機構

- 北村 秀光¹⁾、大竹 淳矢¹⁾、金海 俊¹⁾、大野 陽介¹⁾、岸川 拓斗¹⁾、寺田 聖¹⁾、
角田健太郎¹⁾、喜多 俊行¹⁾、小林 博也²⁾

¹⁾ 北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫制御分野、²⁾ 旭川医科大学医学部病理学講座 免疫病理分野

008-3 V δ 1T細胞を起点とする自然炎症はがん悪性化を促進する

- 早川 芳弘^{1,2)}、木村 好孝²⁾、永井 直²⁾、松下まりも³⁾、田原 秀晃³⁾、善本 隆之⁴⁾、
済木 育夫¹⁾、入村 達郎^{2,5)}

¹⁾ 富山大学 和漢医薬学総合研究所 病態生化学分野、²⁾ 東京大学 大学院薬学系研究科 生体異物学教室、

³⁾ 東京大学 医科学研究所 臓器細胞工学分野、⁴⁾ 東京医科大学 医学総合研研究所 免疫制御部門、

⁵⁾ 聖路加国際メディカルセンター

008-4 microRNAによる樹状細胞のサイトカイン産生制御を介したType-1免疫応答の制御機構

- 寺田 聖、金海 俊、角田健太郎、大竹 淳矢、大野 陽介、岸川 拓斗、喜多 俊行、
北村 秀光

北海道大学遺伝子病制御研究所免疫制御分野

008-5 悪性黒色腫における所属リンパ節内CD169陽性マクロファージ数は生命予後と相関する

- 西東 洋一、大西 紘二、菰原 義弘、竹屋 元裕

熊本大学 大学院生命科学部 細胞病理学

008-6 核酸を用いた自然免疫経路活性化による抗腫瘍効果の検討

- 亀山 武志、木口 舞美、佐藤 精一、石川 浩三、高岡 晃教

北海道大学

一般演題 **009 腫瘍抗原とワクチン療法 (I)**

7月31日(木) 14:55 ~ 15:30

第2会場

座長：宇高 恵子 (高知大学医学部免疫学教室)

009-1 細胞性免疫を誘導する人工抗原の作用メカニズムの解析

○伊藤 正紀¹⁾、林 和美¹⁾、小井戸薫雄²⁾、本間 定¹⁾、南澤宝美后³⁾、芝 清隆³⁾

¹⁾ 東京慈恵会医科大学・悪性腫瘍治療研究部、²⁾ 東京慈恵会医科大学・消化器肝臓内科、

³⁾ (公財) がん研究会・がん研究所・蛋白創製研究部

009-2 癌胎児性抗原 IMP-3 由来の CTL と Th1 細胞の誘導活性を併せ持つ 単一癌抗原ペプチドの同定

○平山 真敏^{1,2)}、富田 雄介^{1,3)}、湯野 晃^{1,2)}、塚本 博丈¹⁾、千住 覚¹⁾、
Mohammad Abu Sayem¹⁾、吉武 義泰²⁾、福間 大喜²⁾、角田 卓也⁴⁾、吉田 浩二⁴⁾、
中村 祐輔⁵⁾、篠原 正徳²⁾、西村 泰治¹⁾

¹⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部免疫識別学分野、²⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部歯科口腔外科学分野、

³⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学分野、⁴⁾ オンコセラピーサイエンス株式会社、

⁵⁾ シカゴ大学医学部

009-3 細胞傷害性 T 細胞誘導剤を用いたがん CTL エピトープ特異的 CTL の誘導

○川野 雅章¹⁾、松下 祥^{1,2)}、赤塚 俊隆³⁾、半田 宏⁴⁾、松井 政則³⁾

¹⁾ 埼玉医科大学 医学部 免疫学、²⁾ 埼玉医科大学 アレルギーセンター、

³⁾ 埼玉医科大学 医学部 微生物学、⁴⁾ 東京医科大学 ナノ粒子先端医学応用講座

009-4 HLA-A2 mutant からなる Single-chain trimer による抗腫瘍免疫誘導の増強

○松井 政則¹⁾、川野 雅章²⁾、松下 祥²⁾、赤塚 俊隆¹⁾

¹⁾ 埼玉医科大学医学部微生物学、²⁾ 埼玉医科大学医学部免疫学

009-5 HLA-A24 peptidomics of cancer and cancer stem cells

○ Kochin Vitaly¹⁾, Takayuki Kanaseki¹⁾, Daichi Morooka¹⁾, Akari Takaya¹⁾,
Yoshihiko Hirohashi¹⁾, Yasuo Kokai²⁾, Toshihiko Torigoe¹⁾, Noriyuki Sato¹⁾

¹⁾ Department of Pathology 1, Sapporo Medical University

²⁾ Department of Biomedical Engineering, Sapporo Medical University

一般演題 **010 腫瘍抗原とワクチン療法 (II)**

7月31日(木) 15:30 ~ 16:00

第2会場

座長：山下 政克 (愛媛大学医学系研究科免疫学・感染防御学講座)

010-1 ゲノム解析による Epitope landscape (遺伝子変異に由来するがん抗原群) の網羅的探索

○森重 聡¹⁾、水野 晋一²⁾、飯野 忠史²⁾、加藤 光次³⁾、小田原 淳⁴⁾、菊繁 吉謙⁴⁾、
高石 繁生²⁾、長藤 宏司¹⁾、岡村 孝¹⁾、赤司 浩一^{2,3,4)}

¹⁾ 久留米大学医学部 血液・腫瘍内科、²⁾ 九州大学 先端医療イノベーションセンター、

³⁾ 九州大学医学部 病態修復内科学 (第一内科)、⁴⁾ 九州大学医学部 遺伝子細胞療法部

O10-2 ヒトにおける cancer immunosurveillance –がんゲノム解析からのアプローチ

- 水野 晋一¹⁾、井元 清哉²⁾、池田 裕明³⁾、上村 光弘²⁾、山口 類²⁾、飯野 忠史¹⁾、加藤 光次⁴⁾、高石 繁生^{1,5)}、小川 誠司⁵⁾、珠玖 洋³⁾、赤司 浩一^{1,4)}、宮野 悟²⁾
¹⁾九州大学先端医療イノベーションセンター、²⁾東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター、
³⁾三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学講座、
⁴⁾九州大学大学院医学研究院 病態修復内科学（第一内科）、
⁵⁾京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学

O10-3 p53、hTERT、WT-1 及び VEGFR2 は HLA-A24 陽性膀胱癌に対する癌ワクチン療法の最適な標的である

- 寺島 健志、水腰英四郎、伏見 一美、山宮 大典、米島 淳、稲田 悠記、木田 明彦、梶 喜一郎、玉井 利克、中河 秀俊、熊谷 将史、北原 征明、飯田 宗穂、金子 周一
金沢大学附属病院

O10-4 Glypican-3 由来エピトープペプチド結合リポソームの CTL 誘導能の評価

- 岩間 達章^{1,2)}、内田 哲也³⁾、下村 真菜美¹⁾、吉川 聡明¹⁾、中面 哲也^{1,2)}
¹⁾国立がん研究センター早期・探索臨床研究センター 免疫療法開発分野、
²⁾東京理科大学 大学院 生命医学研究科、³⁾埼玉医科大学医学部微生物学

一般演題

O11 抗腫瘍エフェクター細胞 (I)

7月31日(木) 16:00 ~ 16:30

第2会場

座長：赤塚 美樹 (藤田保健衛生大学医学部血液内科)

O11-1 抗 CD3 抗体 /CH296 を用いた siTCR レンチウイルスベクターによる高品質遺伝子改変 T 細胞の作製

- 岡本 幸子¹⁾、磯江加奈子¹⁾、池田 裕明²⁾、藤原 弘³⁾、安川 正貴³⁾、珠玖 洋²⁾、峰野 純一¹⁾
¹⁾タカラバイオ株式会社 CDM センター、²⁾三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学、
³⁾愛媛大学大学院医学系研究科 生体統御内科学

O11-2 Development of TCR gene therapy with allogeneic T cells

- UENO Hiroaki¹⁾、IKEDA Hiroaki¹⁾、KAWAMURA Ayumi²⁾、YAMANE Makiko¹⁾、IMAI Naoko³⁾、OKAMOTO Sachiko²⁾、MINENO Junichi²⁾、TAKESAKO Kazutoh²⁾、SHIKU Hiroshi¹⁾
¹⁾Department of Immuno-Geno Therapy, Mie University Graduate School of Medicine、
²⁾Takara Bio Inc.、³⁾Icahn School of Medicine at Mt. Sinai

O11-3 Targeting Aurora Kinase A with an Enhanced TCR Gene-transfer Vector

- Casey Nicholas¹⁾、Fujiwara Hiroshi¹⁾、Okamoto Sachiko²⁾、Mineno Junichi²⁾、Kuzushima Kiyotaka³⁾、Shiku Hiroshi⁴⁾、Yasukawa Masaki¹⁾
¹⁾Ehime University School of Medicine、²⁾Takara Bio Inc.、³⁾Aichi Cancer Center、⁴⁾Mie University

O11-4 HLA class I 拘束性 WT1 特異的 Th1 及び Th17 CD4⁺ T 細胞作成の試み

- 朝井 洋晶¹⁾、藤原 弘¹⁾、越智 俊元²⁾、岡本 幸子³⁾、峰野 純一³⁾、葛島 清隆⁴⁾、珠玖 洋⁵⁾、安川 正貴¹⁾
¹⁾愛媛大学大学院医学系研究科 血液免疫感染症内科学、
²⁾Princess Margaret Hospital, Ontario Cancer Institute、³⁾タカラバイオ株式会社 細胞・遺伝子治療センター、
⁴⁾愛知県がんセンター 腫瘍免疫学部、
⁵⁾三重大学大学院医学系研究科 がんワクチン治療学 / 遺伝子・免疫細胞治療学

一般演題 **O12 抗腫瘍エフェクター細胞（Ⅱ）**

7月31日（木）16：30～17：00

第2会場

座長：藤原 弘（愛媛大学医学部附属病院 第一内科）

O12-1 WT1 ペプチド-HLA-A24 複合体を認識するヒト抗体の単離とそれを用いた CAR 治療法の開発

- 赤堀 泰¹⁾、米山 元裕¹⁾、池田 裕明¹⁾、宮原 慶裕¹⁾、織戸 由貴¹⁾、天石 泰典²⁾、岡本 幸子²⁾、峰野 純一²⁾、竹迫 一任²⁾、珠玖 洋¹⁾

¹⁾ 三重大学、²⁾ タカラバイオ

O12-2 異なった親和性をもつ HLA-A2 拘束性マイナー抗原 HA-1H を特異的 CAR-T 細胞の機能解析

- 赤塚 美樹^{1,2)}、赤堀 泰³⁾、稲熊 容子¹⁾、西村 泰治⁴⁾、岡村 文子²⁾、葛島 清隆²⁾、恵美 宣彦¹⁾

¹⁾ 藤田保健衛生大学・医・血液内科学、²⁾ 愛知県がんセンター・研・腫瘍免疫学、

³⁾ 三重大学・院・遺伝子・免疫細胞治療学、⁴⁾ 熊本大学・院・免疫識別学

O12-3 キメラ抗原レセプター導入 T 細胞の抗原非特異的活性化の解析

- 天石 泰典¹⁾、岡本 幸子¹⁾、赤堀 泰²⁾、宮原 慶裕²⁾、池田 裕明²⁾、黒澤 良和³⁾、珠玖 洋²⁾、峰野 純一¹⁾

¹⁾ タカラバイオ株式会社 CDM センター、²⁾ 三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学講座、

³⁾ 藤田保健衛生大学 総合医科学研究所

O12-4 ポテリジオを併用した ATL に対する新たな細胞免疫療法の可能性

- 田中 寛希、藤原 弘、越智 史博、谷本 一史、朝井 洋晶、那波 明宏、安川 正貴
愛媛大学医学部

一般演題 **O13 がん免疫療法（抗体・他）（Ⅰ）**

7月31日（木）17：00～17：45

第2会場

座長：影山 慎一（三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学）

O13-1 マウス大腸癌皮下腫瘍モデルに対する抗 4-1BB 抗体／抗 PD-1 抗体を用いた癌免疫療法

- 新藤芳太郎¹⁾、吉村 清¹⁾、倉増 敦朗²⁾、渡邊 裕策¹⁾、前田 祥成¹⁾、吉野 茂文¹⁾、裕 彰一¹⁾、玉田 耕治³⁾、八木田秀雄⁴⁾、岡 正朗¹⁾

¹⁾ 山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学、²⁾ 山口大学大学院 分子薬理学、

³⁾ 山口大学大学院 細胞シグナル解析学分野、⁴⁾ 順天堂大学医学部免疫学講座

O13-2 CD155-TIGIT interaction is an immune checkpoint regulating antimelanoma immune responses

- 猪爪 隆史¹⁾、谷口 智憲²⁾、古田 潤平¹⁾、原田 和俊¹⁾、伊藤 守³⁾、河上 裕²⁾、島田 眞路¹⁾

¹⁾ 山梨大学、²⁾ 慶応義塾大学、³⁾ 実験動物中央研究所

O13-3 Bcl-2 family 阻害剤併用によるヒト膵癌細胞の TRAIL 抵抗性の克服

- 波里 瑠子¹⁾、原嶋奈々江²⁾、門馬 浩行¹⁾、田島 義証¹⁾、原田 守²⁾

¹⁾ 島根大学 消化器・総合外科、²⁾ 島根大学 免疫学

※ は若手研究奨励賞応募演題

013-4 低酸素誘導因子 hypoxia-inducible factor 阻害によるヒト膀胱癌細胞の TRAIL 感受性の増強

- 原嶋奈々江¹⁾、門馬 浩行²⁾、波里 瑤子^{1,2)}、秋元 美穂³⁾、竹永 啓三³⁾、原田 守¹⁾
¹⁾ 島根大学・医学部・免疫学、²⁾ 島根大学・医学部・消化器総合外科学、³⁾ 島根大学・医学部・腫瘍生物学

013-5 ヒト膀胱癌細胞に対する TRAIL と chloroquine の併用効果の検討

- 門馬 浩行¹⁾、原嶋奈々江²⁾、波里 瑤子^{2,3)}、田島 義証³⁾、原田 守²⁾
¹⁾ 兵庫県立加古川医療センター 外科、²⁾ 島根大学 医学部 免疫、³⁾ 島根大学 医学部 消化器・総合外科

013-6 ゲムシタビンによる HER2 発現増強効果を利用した膀胱癌に対する新たな分子標的療法

- KAN Shin¹⁾、小井戸薫雄¹⁾、岡本 正人²⁾、林 和美¹⁾、伊藤 正紀¹⁾、鎌田 裕子¹⁾、
込田 英夫¹⁾、永崎栄次郎¹⁾、本間 定¹⁾
¹⁾ 東京慈恵会医科大学、²⁾ 北里大学

一般演題 **014 がん免疫療法（抗体・他）（Ⅱ）**

7月31日（木）17：45～18：20

第2会場

座長：増本 純也（愛媛大学大学院医学系研究科解析病理学講座）

014-1 Increase of activated Tregs in TIL in lung cancer and in vitro depletion of Tregs by ADCC using anti-human CCR4 mAb (KM2760)

- 黒瀬 浩史¹⁾、大植 祥弘¹⁾、榮川 伸吾²⁾、西尾 祐美¹⁾、磯辺みどり¹⁾、上中 明子³⁾、
岡 三喜男¹⁾、中山 睿一³⁾
¹⁾ Department of Respiratory Medicine, Kawasaki Medical School,
²⁾ Department of Immunology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and
Pharmaceutical Sciences,
³⁾ Faculty of Health and Welfare, Kawasaki University of Medical Welfare

014-2 CEA を標的とした抗腫瘍免疫療法

- 白須 直人¹⁾、山田 博美¹⁾、芝口 浩智¹⁾、黒木 求²⁾、黒木 政秀¹⁾
¹⁾ 福岡大学 医学部 生化学、²⁾ 福岡大学 医学部 看護

014-3 腫瘍溶解性ウイルス HF10 と抗 G1TR 抗体を用いた in situ vaccination

- 瀬尾 尚宏¹⁾、石原 幹也¹⁾、村岡 大輔¹⁾、田中 舞紀²⁾、峰野 純一²⁾、池田 裕明¹⁾、
珠玖 洋¹⁾
¹⁾ 三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学教室、²⁾ タカラバイオ株式会社

014-4 大腸癌肝転移症例の病理組織からみた抗 EGFR 抗体の免疫的作用機序の検討

- 井上 由佳、裕 彰一、新藤芳太郎、松井 洋人、徳光 幸生、徳久 善弘、坂本 和彦、
吉村 清、為佐 卓夫、吉野 茂文、岡 正朗
山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学

014-5 EphA10 と CD3 をターゲットとする Bispecific 抗体の最適な分子設計に関する考察

- 瀧 慎太郎^{1,2)}、鎌田 春彦^{1,3)}、井上 雅己¹⁾、長野 一也¹⁾、向 洋平¹⁾、堤 康央^{1,2,3)}、
角田 慎一^{1,2,3)}
¹⁾ 独立行政法人 医薬基盤研究所 バイオ創薬プロジェクト、²⁾ 大阪大学 大学院薬学研究科、
³⁾ 大阪大学 MEI センター

一般演題 O15 腫瘍微小環境における免疫抑制メカニズム (I)

8月1日(金) 14:00 ~ 14:35

第1会場

座長：地主 将久 (北海道大学遺伝子病制御研究所 附属感染癌研究センター)

O15-1 子宮体癌患者における予後予測因子としてのCD169陽性リンパ節マクロファージの重要性

- 菰原 義弘、大西 紘二、西東 洋一、竹屋 元裕
熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学

O15-2 Prognostic Significance of Tumor-Associated Tertiary Lymphoid Structures in Pancreatic Cancer

- SASADA Tetsuro^{1,2,3)}、SUEKANE Shigetaka^{3,4)}、NAITO Yoshiki⁵⁾、REINHERZ Ellis³⁾
¹⁾ Department of Immunology, Kurume University School of Medicine、
²⁾ Cancer Vaccine Center, Kurume University、³⁾ Cancer Vaccine Center, Dana-Farber Cancer Institute、
⁴⁾ Department of Urology, Kurume University School of Medicine、
⁵⁾ Department of Pathology, Kurume University School of Medicine

O15-3 肺癌患者のTregにおけるIkaros family分子Heliosの発現と、その臨床的検討

- 武藤 哲史、山浦 匠、福原 光朗、岡部 直行、松村 勇輝、長谷川剛生、大杉 純、
星野 実加、樋口 光徳、鈴木 弘行
福島県立医科大学 呼吸器外科

O15-4 大腸癌分泌膜小胞による免疫寛容誘導メカニズム

- 山田 名美、倉永 祐希、赤尾 幸博
岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科

O15-5 腫瘍内の免疫抑制性環境の制御による腫瘍特異的CTL移入治療の増強

- 細井 亮宏^{1,3)}、平野 康介^{1,2)}、松下 博和¹⁾、瀬戸 泰之²⁾、前川 隆司³⁾、垣見 和宏¹⁾
¹⁾ 東京大学医学系研究科 免疫細胞治療学(メディネット)講座、
²⁾ 東京大学大学院医学系研究科 消化管外科学講座、
³⁾ 株式会社メディネット先端医科学研究所

一般演題 O16 腫瘍微小環境における免疫抑制メカニズム (II)

8月1日(金) 14:35 ~ 15:10

第1会場

座長：北村 秀光 (北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫制御分野)

O16-1 高吸収性クルクミン併用による免疫抑制改善効果を介した免疫チェックポイント阻害療法の効果増強

- 早川 妙香¹⁾、杉山 重里¹⁾、今泉 厚²⁾、谷口 智憲¹⁾、河上 裕¹⁾
¹⁾ 慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所(細胞情報)、²⁾ 株式会社 セラバリュース

O16-2 局所性Renin-Angiotensin systemの阻害による、がん関連線維芽細胞や骨髄系免疫細胞の制御を介したPD-1/PD-L1免疫チェックポイント阻害療法の効果増強

- 中村 謙太^{1,2)}、谷口 智憲¹⁾、大村 学¹⁾、小林明日香¹⁾、川村 直¹⁾、杉山 重里¹⁾、
桜井 敏晴¹⁾、木庭 幸子²⁾、奥山 隆平²⁾、河上 裕¹⁾
¹⁾ 慶應大学医学部 先端医科学研究所 細胞情報研究部門、²⁾ 信州大学 医学部 皮膚科

※ は若手研究奨励賞応募演題

O16-3 樹状細胞における IL-6-STAT3 依存的な機能抑制の改善によるがん免疫治療への応用

○金海 俊¹⁾、大野 陽介^{1,2)}、大竹 淳矢¹⁾、寺田 聖¹⁾、角田健太郎¹⁾、岸川 拓斗¹⁾、喜多 俊行¹⁾、高橋 典彦²⁾、武富 紹信²⁾、北村 秀光¹⁾

¹⁾ 北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫制御分野、²⁾ 北海道大学大学院医学研究科 消化器外科学分野 I

O16-4 乳酸によるがん微小環境における免疫炎症応答の制御機構

○井上 徳光¹⁾、大橋 敏充²⁾、赤澤 隆¹⁾

¹⁾ 大阪府立成人病センター研究所・分子遺伝、²⁾ 岐阜大学大学院・医学系研究科・耳鼻咽喉科学

O16-5 膵癌化学放射線療法は膵癌局所の微小免疫環境を増強する

○土川 貴裕、武内慎太郎、佐藤 彰記、高野 博信、猪子 和穂、高橋 瑞奈、中村 透、七戸 俊明、平野 聡

北海道大学

一般演題 O17 腫瘍抗原とワクチン療法 (Ⅲ)

8月1日(金) 15:10 ~ 15:40

第1会場

座長：池田 裕明 (三重大学大学院医学系研究科病態解明医学講座 遺伝子・免疫細胞治療学)

O17-1 生きた抗原提示細胞の MHC class II 分子へのペプチド結合解析

○宇高 恵子、加藤絵梨香、藤本 理加、平地 泰子、山下 麻美、小松 利広

高知大学医学部免疫学

O17-2 遺伝子導入樹状細胞を用いた癌ワクチン療法—これまでとこれから—

○北谷 純也、尾島 敏康、岩本 博光、中森 幹人、中村 公紀、宮澤 基樹、勝田 将裕、早田 啓治、山上 裕機

和歌山県立医科大学 第2外科

O17-3 腫瘍抗原 (TAA) 遺伝子導入 iPS 細胞由来樹状細胞 (iPSDCs) を用いた癌ワクチン療法の基礎研究

○岩本 博光、尾島 敏康、北谷 純也、早田 啓治、勝田 将裕、宮澤 基樹、中村 公紀、中森 幹人、山上 裕機

和歌山県立医科大学 第2外科

O17-4 ヒトの末梢血単球の増殖誘導法を用いた樹状細胞の大量産生

○今村 悠哉^{1,2)}、春田 美和¹⁾、富田 雄介^{1,3)}、松村 桂子¹⁾、池田 徳典^{1,4)}、高松孝太郎^{1,4)}、西村 泰治¹⁾、千住 覚¹⁾

¹⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部免疫識別学分野、²⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部整形外科分野、

³⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学分野、⁴⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部神経内科学分野

一般演題 **O18 腫瘍抗原とワクチン療法 (IV)**

8月1日(金) 15:40 ~ 16:10

第1会場

座長：高岡 晃教 (北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子生体防御分野)

O18-1 ワクチン効果の異なるマウス乳がん細胞株の比較・検討によるワクチン効果増強因子の検索

- 阿部 紘丈^{1,2)}、和田はるか¹⁾、林 えりか¹⁾、山中 弘之¹⁾、武内慎太郎²⁾、平野 聡²⁾、清野研一郎¹⁾

¹⁾ 北海道大学医学部医学研究科免疫生物分野、²⁾ 北海道大学医学部医学研究科消化器外科学分野 2

O18-2 腫瘍環境を標的とした TLR9 アゴニスト投与による新しいがん免疫療法の開発

- 北畑 裕司^{1,2)}、勝田 将裕¹⁾、宮澤 基樹¹⁾、青枝 大貴^{2,3)}、小檜山康司^{2,3)}、谷 眞至¹⁾、中森 幹人¹⁾、尾島 敏康¹⁾、早田 啓治¹⁾、水本 有紀¹⁾、石井 健^{2,3)}、山上 裕機¹⁾

¹⁾ 和歌山県立医科大学 第2外科、²⁾ (独) 医薬基盤研究所 アジュバント開発プロジェクト、

³⁾ 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター ワクチン学

O18-3 RNA アジュバントによる Ly6G 陽性細胞を介した抗がん作用

- 志馬 寛明、松本美佐子、瀬谷 司

北海道大学大学院医学研究科免疫学分野

O18-4 Development of artificial adjuvant vector cells as a multifunctional cancer vaccine

- 藤井 眞一郎、清水 佳奈子、信賀 順、山崎 哲、佐藤 悠輔

理化学研究所 統合生命医科学研究センター 免疫細胞治療研究チーム

一般演題 **O19 抗腫瘍エフェクター細胞 (III)**

8月1日(金) 14:00 ~ 14:35

第2会場

座長：清野研一郎 (北海道大学遺伝子病制御研究所 病態研究部門 免疫生物分野)

O19-1 The functional analyses of human invariant NKT cells reprogrammed from iPSCs derived from NKT cells

- 伊豫田智典、山田 大輔、清水佳奈子、石川 文彦、谷口 克、古関 明彦、藤井眞一郎

理化学研究所 統合生命医科学研究センター

O19-2 BCR-ABL 特異的ヘルパー T 細胞のリプログラミングと CML 治療への応用

- 上田 格弘^{1,2,3)}、植村 靖史^{2,4)}、張 エイ²⁾、劉 天懿⁵⁾、巽 美奈子²⁾、安井 裕¹⁾、葛島 清隆²⁾、清井 仁³⁾、金子 新¹⁾

¹⁾ 京都大学 iPS 細胞研究所 増殖分化機構研究部門、²⁾ 愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫学部、

³⁾ 名古屋大学 血液・腫瘍内科学、⁴⁾ 国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター 免疫療法開発分野、

⁵⁾ 中華人民解放軍総医院 腫瘍学

O19-3 ゲノムエディットを利用した、iPS 細胞よりの抗原特異的 T 細胞の産生

- MINAGAWA ATSUTAKA^{1,2)}、川名 敬²⁾、金子 新¹⁾

¹⁾ 京都大学 iPS 細胞研究所、²⁾ 東京大学産婦人科

※ は若手研究奨励賞応募演題

O19-4 I型インターフェロン遺伝子を導入したiPS細胞由来ミエロイドラインを用いたメラノーマの免疫療法

- 宮下 梓¹⁾、福島 聡¹⁾、千住 覚²⁾、西村 泰治²⁾、神人 正寿¹⁾、尹 浩信¹⁾
¹⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部皮膚病態治療再建学分野、
²⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部免疫識別学分野

O19-5 iPS細胞技術を用いたがん抗原特異的細胞傷害性T細胞の大量調製法の開発

- 河合 洋平
京都大学 iPS細胞研究所

一般演題

O20 抗腫瘍エフェクター細胞 (IV)

8月1日(金) 14:35 ~ 15:05

第2会場

座長：藤井真一郎（理化学研究所 統合生命医科学研究センター 免疫細胞治療研究チーム）

O20-1 ヒト末梢血由来細胞傷害性 $\gamma\delta$ T細胞は膠芽腫細胞株を殺傷する

- 中澤 務^{1,5)}、中村 光利¹⁾、朴 永鉄¹⁾、本山 靖¹⁾、新 靖史¹⁾、弘中 康雄¹⁾、
中川 一郎¹⁾、西村 文彦¹⁾、松田 良介¹⁾、丸谷 明子¹⁾、王寺 典子³⁾、辻村 貴弘⁴⁾、
王寺 幸輝²⁾、吉川 正英²⁾、中瀬 裕之¹⁾
¹⁾ 奈良県立医科大学脳神経外科、²⁾ 奈良県立医科大学病原体・感染防御医学、
³⁾ 奈良県立医科大学微生物感染症学、⁴⁾ グランソール奈良、⁵⁾ グランソール免疫研究所

O20-2 Identification of a novel human T cell population with the characteristics of stem cell memory

- MURATA Kenji^{1,2)}、TSUKAHARA Tomohide¹⁾、EMORI Makoto²⁾、
SHIBAYAMA Yuji^{1,2)}、KAYA Mitsunori²⁾、YAMASHITA Keiji³⁾、TORIGOE Toshihiko¹⁾、
HIMI Tetsuo³⁾、YAMASHITA Toshihiko²⁾、SATO Noriyuki¹⁾
¹⁾ Department of Pathology 1, Sapporo Medical University、
²⁾ Department of Orthopaedic Surgery, Sapporo Medical University、
³⁾ Department of Otolaryngology, Sapporo Medical University

O20-3 優れたエフェクター活性を有するワクチン特異的メモリーCD8陽性T細胞の特性解析

- 村岡 大輔¹⁾、林 妙¹⁾、原田 直純^{1,2)}、加藤 琢磨³⁾、珠玖 洋¹⁾
¹⁾ 三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学、²⁾ 株式会社イミュノフロンティア、
³⁾ 三重大学 大学院医学系研究科 生体防御医学

O20-4 腫瘍浸潤CD8T細胞の免疫疲弊解除における活性化AMPKの役割

- 柴川 伸吾¹⁾、根川 真実¹⁾、國定 勇希^{1,2)}、上原 健敬^{1,3)}、一柳 朋子¹⁾、山崎 千尋¹⁾、
鵜殿平一郎¹⁾
¹⁾ 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 免疫学、
²⁾ 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 口腔顎顔面外科学、
³⁾ 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 整形外科

一般演題 **O21 免疫逃避機構 (II)**

8月1日(金) 15:05 ~ 15:35

第2会場

座長：岡 芳弘 (大阪大学大学院医学系研究科癌免疫学 (大塚製薬) 共同研究講座)

O21-1 制御性 T 細胞は腫瘍抗原特異的 CD8⁺ T 細胞に特徴的なアネルギー状態を誘導する

○前田 優香

大阪大学免疫学フロンティア研究センター実験免疫学

O21-2 骨髄異形成症候群における CD7 陽性腫瘍の増悪化機構の解析

○奥山奈美子¹⁾、石橋真理子¹⁾、田村 秀人¹⁾、守屋 慶一¹⁾、小野寺 (近藤) 麻加¹⁾、
濱田 泰子¹⁾、朝山 敏夫¹⁾、遠山 薫²⁾、猪口 孝一¹⁾

¹⁾ 日本医科大学血液内科、²⁾ 川崎医科大学検査診断学

O21-3 骨髄異形成症候群 (MDS) における high-mobility group box1 (HMGB1) の解析

○朝山 敏夫、石橋真理子、田村 秀人、守屋 慶一、小野寺麻加、奥山奈美子、濱田 泰子、
猪口 孝一

日本医科大学

O21-4 Promotion of T cell dysfunction by regulatory T cells in tumors; mechanisms and insights

○Dennis Adeegbe

大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 実験免疫学